【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】令和7年6月26日(2025.6.26)

【国際公開番号】WO2024/080382
【出願番号】特願2024-551792(P2024-551792)
【国際特許分類】
Ｃ０４Ｂ 35/486(2006.01)
Ａ６１Ｋ 6/818(2020.01)
Ａ６１Ｌ 27/10(2006.01)
Ａ６１Ｃ 13/083(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０４Ｂ 35/486
Ａ６１Ｋ 6/818
Ａ６１Ｌ 27/10
Ａ６１Ｃ 13/083

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月14日(2025.4.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明に係るジルコニアセラミックは、
ジルコニウムイオン及び銀イオン及び酸素イオンを含む置換型結晶構造であって、ジルコニアの結晶構造における一部のジルコニウムイオンが銀イオンに置換された置換型結晶構造、
を有する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
常温において、前記置換型結晶構造は、単斜晶と正方晶との混合体、又は正方晶よりなるものであってもよい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明に係る焼成用粉体は、
上述した本発明に係るジルコニアセラミックの製造に用いられる焼成用粉体であって、
ジルコニアの粉体に銀が含有される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ジルコニウムイオン及び銀イオン及び酸素イオンを含む置換型結晶構造であって、ジルコニアの結晶構造における一部のジルコニウムイオンが銀イオンに置換された置換型結晶構造、
を有する、ジルコニアセラミック。
【請求項２】
前記銀イオンが、前記ジルコニウムイオン及び前記酸素イオンと共に固溶体を構成している、
請求項１に記載のジルコニアセラミック。
【請求項３】
常温において、前記置換型結晶構造は、単斜晶と正方晶との混合体、又は正方晶よりなる、
請求項１に記載のジルコニアセラミック。
【請求項４】
前記銀イオンの含有量が、前記ジルコニウムイオンに対して０．０１ｍｏｌ％以上である、
請求項１に記載のジルコニアセラミック。
【請求項５】
正方晶を２０％以上含む、
請求項３に記載のジルコニアセラミック。
【請求項６】
前記ジルコニアセラミックの形態が、ブロック体、粉末、又は被膜である、
請求項１に記載のジルコニアセラミック。
【請求項７】
請求項１から６のいずれか１項に記載のジルコニアセラミックを有する、
生体内インプラント。
【請求項８】
請求項１から６のいずれか１項に記載のジルコニアセラミックの製造に用いられる焼成用粉体であって、
ジルコニアの粉体に銀が含有される、焼成用粉体。
【請求項９】
ジルコニウム化合物と銀化合物とを溶液又は懸濁液の形態で混合した後、前記溶液又は前記懸濁液に沈殿剤を添加することにより、前記ジルコニウム化合物に由来するジルコニアと、前記銀化合物に由来する銀とを含む沈殿物を得る沈殿物生成工程と、
前記沈殿物を乾燥させて得られる焼成用粉体を焼成することにより、銀イオンが複合化しているジルコニアセラミックを得る焼成工程と、
を有する、ジルコニアセラミック製造方法。